

第三次障害者福祉計画策定にあたって（案）  
（事務局打ち合わせ用資料抜粋）

平成 28 年 10 月 4 日

加藤 潤一

1. 計画の基本理念

「支えあい、ともに暮らしあうまち 北本の実現」

どのような「北本」を10年後に実現をするのか、言葉によって表現をする。

\*北本市オリジナルのまちづくり計画としたい。

（障害者が住みやすいまちは、妊婦さんでも、小さな子どもにも、けがをしている人にも、高齢者にも住みやすいまちとなる。）

2. 基本理念を支える方針の作成

(1) 支援の質を高め、連携を広げる

支援体制の強化とその活用のための施策が必要ではないか。

(2) 制度の壁を越え、ニーズに応じた支援の仕組みをつくる

個別の課題を地域の課題ととらえ、柔軟な対応ができる組織体制が必要ではないか。

(3) 市民との協働による、支えあう仕組みづくり

ピアサポートなど、当事者による支えあいのほか、地域で行われる様々な文化活動やスポーツの機会に障害のある人も、ともに参加することを市民が認識、実践し、公的な機関が支援を行うことが必要ではないか。

(4) 人権を尊重し、お互いを見守る

障害に関する誤解や無理解を解消し、市民が正しく理解するための支援があり、ともに暮らしあうことに関する認識が持てることが必要ではないか。

3. 「支えあい、ともに暮らしあうまち」を実現するために分野の設定

①相談支援・支えの基盤づくり

（障害のある人に対する相談支援、情報共有、権利擁護に関する分野）

目標例) 地域自立支援協議会の設置

②育ちや学びを実現するための基盤づくり

（障害のある子どもの育ちや学びに関する分野）

目標例) 教育と福祉の連携

③働くを実現するための基盤づくり

（障害のある人の就労に関する分野）

目標例) 一般就労を前提とした支援を行う

④暮らしを支える基盤づくり

(障害のある人の住まい、医療、警察、消防などに関する分野)

目標例) 地域での住まいが確保され、そのために必要な支援が地域に用意される

⑤自分らしさを実現するための基盤づくり

(障害のある人の文化活動やスポーツ活動などに関する分野)

目標例) 心身の休息や活力が得られること

⑥障害の理解と市民との協働を実現するための基盤づくり

(障害に対する市民の理解やかかわりなどに関する分野)

目標例) 障害に関する誤解や無理解の解消のための取り組み

#### 4. 計画標記（案）

分野○ 暮らしを支える基盤づくり

目標○ グループホームやアパートなど、自分の生活スタイルに合った地域での住まいが確保され、そのために必要な支援が地域に用意されること

##### ①障害者の意見・意向

<p>アンケートの分析結果</p> <p>（現在の住まいやグループホーム、居宅介護等の利用希望など）</p>
--

##### ②当事者団体、市民団体、事業者の意見

--

##### ③第二次北本市障害者福祉計画の進捗状況

--

##### ④目標実現に向けた各主体の取り組み

<p>（当事者は）○○をします。</p> <p>（市民、市民団体は）○○をします。</p> <p>（事業者・関係機関は）○○をします。</p> <p>（行政は）○○をします。</p>
---

各ページの余白には、授産品や子どもの作品などの写真を載せましょう。